

## 救急現場に消防車も行くことがあります！

現場の状況により、救急車と救急資機材を積載した消防車が同時に行き、連携して救急活動を行う「PA連携」を実施しています。



消防車 (Pumper)



救急車 (Ambulance)

### PA連携

救急車が到着する前に消防車が到着することがありますが、救急隊員の資格を持った隊員が応急処置を行いますので、ご安心ください。

### PA連携する場合

- ・傷病者の意識状態が悪いとき
- ・傷病者が2階以上にいるとき
- ・道が狭く救急車が近づけないとき
- ・危険が伴う現場と予想されるとき  
(道路や工事現場、傷害事件等)
- ・多くの傷病者が発生したと予想されるとき

## 突然の揺れ！その時どうする！？

地震はいつどこで起こるかわかりません。その時の一瞬の判断で生死が左右されることもあります。それぞれの状況に応じた注意点を学びましょう。



### 屋内にいたら…

- ◎頭を保護し、大きな家具から離れ丈夫な机の下などに隠れましょう。
- ◎大勢の人が出入りする場所では、出入り口や階段に殺到し、怪我をする恐れがあります。あわてずに係員の指示に従いましょう。



### 屋外にいたら…

- ◎ガラスや看板などの落下物に注意し、空き地や公園などに避難しましょう。また、ブロック塀や自動販売機などには近づかないようにしましょう。
- ◎屋根瓦や2階建て以上の住宅のベランダに置かれているエアコンの室外機、ガーデニング用のプランターなどが落下してくることがあります。頭の上も注意しましょう。



### 運転中は…

- ◎急ブレーキは禁物です。ハンドルをしっかり握り、前後の車に注意しながら徐々にスピードを落とし、道路の左側に停車しましょう。
- ◎避難の必要がある場合は、車のキーはつけたままにし、ドアをロックしないで、窓を閉めます。連絡先が見えるところに書き、車検証などの貴重品を持ち、徒歩で避難しましょう。

